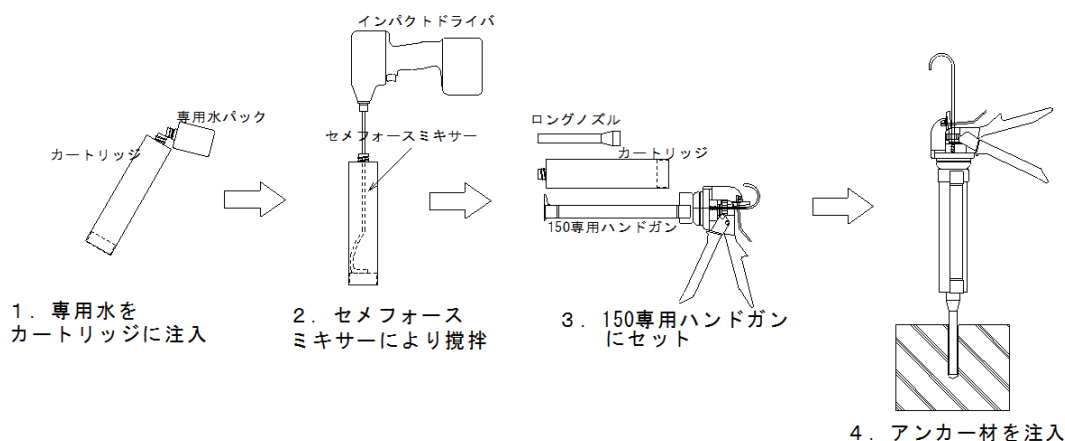


接着系アンカー（無機系・カートリッジ型）

認証取得者	住友大阪セメント株式会社	
所在地	東京都千代田区 6 番町 6 番町 28	
連絡先	TEL03-5211-4681 FAX03-3221-5183	
商品名	セメフォースアンカー-150	
接着剤の材質	特殊セメント	
工法・製品認証名	セメフォースアンカー-150	
認証番号	第19-0011号	
認証有効期間	2019年10月20日 ~ 2024年10月19日	

別添資料

【主剤と硬化剤等との混合方法】



1. ドリル径および穿孔深さと許容差

品番	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
	径	許容差	穿孔深さ	許容差
D16-7d	20	-0.2 ~ +0.3	112	+0 ~ +11
D19-7d	24	-0.3 ~ +0.4	133	+0 ~ +13

2. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	規格降伏点 N/mm <sup>2</sup>		伸び率 %	
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)	
			16 以下	16~40	25 以下	25 以上
SD295A	JIS G3112	440~600	295 以上		16 以上	18 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440		18 以上	20 以上

3. アンカー筋の適用範囲

製品仕様			試験に用いた仕様	
種類	材質	サイズ	材質	サイズ
異形棒鋼	SD295A	D16~D19	SD295A	D16
	SD345	D16~D19	SD345	D19

認証内容

構 成 部 品	項目 1	カプセルタイプの場合	材 質	—			
			形 状	—			
			寸法・許容差	—			
	項目 2	接着剤関連	上記以外の場合	主剤と硬化剤等の混合方法		別添資料による。	
				接着剤の穿孔内への充填方法		専用ハンドガンによる注入方式	
			材質 (重量混合比率)	主材	特殊セメント	硬化材	主材：細骨材：硬化材＝ 41.5：41.6：16.9
			付着強度	細骨材	珪砂	水	
	項目 3		物 性	圧縮強さ	50 N/mm <sup>2</sup> 以上 (材齢 28 日)		
				曲げ強さ	7 N/mm <sup>2</sup> 以上 (材齢 28 日)		
	項目 4	アンカー筋関連	種 類	異形棒鋼 (JIS G3112)			
先端形状			寸切り				
外 観			下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないなど、アンカー筋表面に定着性能を阻害するものがないこと。 2) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。				
項目 5		材 質	異形棒鋼：SD295A (D16) および SD345 (D19)				
		表面処理	なし				
項目 6		強 度	降伏点・引張り強さ・伸び率			別添資料による。	
		ねじ等級	—				
製 品	項目 7	ドリル径と許容差	別添資料による。				
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。				
	項目 9	母材の種別	普通コンクリート				
	項目 10	設計基準強度の範囲	18N/mm <sup>2</sup> 以上、36N/mm <sup>2</sup> 以下				
	項目 11	製品の現場保管条件	施工条件	外気温 -5°C 以上、40°C 以下とする。			
			環境条件 (固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。			
			終局引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式 (1) から式 (3) に対して 95% 以上の信頼性を有している。  $T_{cc} = 0.23\sqrt{\sigma_B} \cdot A_c \cdots$ 式 (1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot l_e \cdots$ 式 (2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_0 \cdots$ 式 (3) 「記号」 $T_{cc}$ : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $A_c$ : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm <sup>2</sup> ) (= $\pi \cdot l_e \cdot (l_e + d_a)$ ) $T_{cb}$ : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) $\tau_a$ : 付着強度 (N/mm <sup>2</sup> ) で、次式による。 (= $10\sqrt{\sigma_B/21}$ ) $l_e$ : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) (= $L - d_a$ ) $L$ : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 $d_a$ : アンカー筋の外径 (mm) $T_{tu}$ : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm <sup>2</sup> ) (= $1.1\sigma_y$ ) $\sigma_y$ : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm <sup>2</sup> ) $a_0$ : アンカー筋の最小断面積 (mm <sup>2</sup> )			
	項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を 95% 以上の信頼性を持って満足している。 min. {2/3 · $T_{my}$ , 0.4 $T_{cc}$ , 0.4 $T_{cb}$ } 時における軸方向の変位量 $\delta$ が、0.3 mm 以下 min. { $T_{my}$ , 0.6 $T_{cc}$ , 0.6 $T_{cb}$ } 時における軸方向の変位量 $\delta$ が、1.0 mm 以下 「記号」 $T_{my}$ : アンカー筋の降伏引張耐力 (= $\sigma_y \cdot a_0$ )				
	項目 14	終局せん断耐力算定式	次式に対して、95% 以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4\sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \cdot s \cdot a_0$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm <sup>2</sup> ) $Q_{mu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s \cdot a_0$ 「記号」 $Q_{mc}$ : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) $E_c$ : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm <sup>2</sup> ) $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $s \cdot a_0$ : アンカー筋の最小断面積 (mm <sup>2</sup> ) $Q_{mu}$ : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm <sup>2</sup> )				
	項目 15	せん断剛性	0.6 $Q_{mc}$ 時又は 0.6 $Q_{mu}$ 時における水平変位量が 5mm 以下又は 0.3 $d$ ( $d$ : アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95% 以上の信頼性を持って満足している。				

[注] 項目 1～15 は、評価認証審査項目を示す。